

佐賀大学校友会では、平成 27 年 10 月から宮崎耕治学長のもとで、校友会役員をはじめとする会員や佐賀大学同窓会と共に校友会組織の拡大と多くの学生への支援ができる体制づくりに取り組んでおります。

今回、第 6 回佐賀大学ホームカミングデーを開催するにあたり、参加者の皆様に学生の諸活動への支援及び校友間交流への支援の状況を報告し、多くの方に佐賀大学校友会の設置の趣旨や活動内容にご理解をいただきたく思っております。

本日は、平成 28 年度に校友会からの奨励金により海外の協定校へ留学した代表学生の報告会と、これまでの校友会の活動状況を報告いたします。

校友会設立から平成 27 年度までの支援状況は、佐賀大学校友会会報第 1 号や支援事業報告書（平成 28 年 11 月 26 日）にて会員の皆様へご報告させていただくとともに、校友の皆様には、ホームページにて最新の情報を提供していますのでぜひ一度ご覧ください。

佐賀大学校友会ホームページ：URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>



Saga University Alumni Association
佐賀大学校友会

概要

- 校友会会長挨拶
- 校友会事業の概要
- 校友会事業内容
- 校友会組織
- 校友会会則
- English

情報

- 校友会会報
- 支援等状況報告
- お知らせ
- イベント情報

校友会会員

- Web登録
- 会費（納入方法）

その他

- 佐賀大学同窓会
- お問い合わせ
- このサイトについて

佐賀大学は、これまで培った文、教、経、医、理、工、農等の諸分野にわたる教育研究を礎に、豊かな自然あふれる風土や諸国との交流を通して育んできた独自の文化や伝統を背景に、「魅力ある大学」「創造と継承」「教育先導大学」「研究の推進」「社会貢献」「国際貢献」「検証と改善」の7項目からなる大学憲章を宣言し活動しております。

昨今の国立大学法人を取り巻く環境は、法人化以降、更なる効率的な大学経営が求められるという状況の中にあつて、本学においては新しい教育課程の編成や学内施設の整備、さらに医学部附属病院の再整備や芸術地域デザイン学部の設置などの事業を着実に進めてきました。もちろん、今日の佐賀大学は、多くの関係者の皆様の御まなびご努力や真摯な取り組みの上であり、こうした先人が辿ってこられた道程を忘れることなく、本学の理念でもあります「地域とともに未来へ向けて発展し続ける大学を目指して」とともに、「芸術的感性豊かな多様性に富む、グローバルな視野を持つ地（知）の拠点」を目指し、構成員一同、邁進してまいります。

また、大学改革実行プランの公表を契機として、課題解決に向けた取り組みや本学の特色・強みをさらなる発展へと導く機能強化、地域との連携を推進するCOC（Center Of Community）機能強化の取り組みや将来構想などを大学改革の戦略としてまとめ、また、佐賀の地域に必要とされる「佐賀の大学」を目指し、併せて学生・卒業生の方に愛される「面倒見の良い大学」を実現するための指針として「佐賀大学改革プラン」を策定し、第3期中期目標・中期計画に向けた指針としながら、随時実行に移していきます。

しかしながら、少子高齢化社会が本格的に進んでいく中で、本学のような地方に位置する一国立大学が生き残っていくためには、本学の教職員は勿論のこと、関係者の皆様方のご理解とご支援が不可欠です。また、「大学とは生涯にわたって自ら学ぶ姿勢」を身に付ける場ですが、学生が学生生活において様々な活動に参加していくためには、大学の経営資源のみでは十分に賄えない状況にあります。

そのような中で、校友会設立後、皆様からの会費により、国際交流支援、海外派遣支援、課外活動等の支援として、これまでに1千万円を超える額を学生に給付し、また校友間交流支援事業として、ホームカミングデー等も開催することができました。この場を借りて御礼申し上げます。

このような、学生がより良いキャンパスライフを過ごすことができるよう支え、支援していくことが佐賀大学校友会の使命であると考えています。

今後、佐賀大学校友会は、卒業生、同窓生、教職員、在学生の保護者等に限らず佐賀大学に関係のある方々や企業・団体の皆様を含めた校友の組織づくりに取り組んでいきます。

会員の皆様におかれましては、引き続き佐賀大学校友会事業にご理解をいただきとともに、格別のご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

平成 27 年 10 月
国立大学法人佐賀大学
学長 宮崎 耕治

佐賀大学校友会ホームページ

概要

校友会会長挨拶
校友会事業の概要
校友会事業の内容
校友会組織
校友会会則
English

情報

校友会会報
支援状況報告
お知らせ
イベント

校友会会員

Web登録
会費（納入方法）

その他

佐賀大学同窓会
お問い合わせ
このサイトについて

皆様のご期待に沿えるような活動内容や情報発信ができるよう日々取り組んでいきたいと思っております。

皆様からの校友会に対するご意見等お待ちしております。

～～ 奨励金受給者による報告 ～～

海外派遣奨励金受給者（平成28年度受給）

リトアニア留学を振り返って

文化教育学部国際文化課程

溝上 宗史朗

留学先：リトアニア ヴィタウタス・マグヌス大学

派遣期間：平成28年8月～平成29年6月

- 奨学金受給の使途・効果
支給して頂いた奨学金は、もしもの時の緊急費として使おうと口座内に保管していましたが、早速その緊急の時がやってきました。トルコ経由でリトアニアに向かう航空券を購入していましたが、イスタンブールの空港でテロ事件が出国の約2週間前に発生したので、安全面を考慮して別の航空会社に変更しました。その時に発生したキャンセル料と航空費に充てさせて頂きました。
- 短期的な視点で一言
EUの大学間協定（エラスムス）によってリトアニアにしながら世界各国の人々と交遊する事ができました。異文化と直に接する機会も非常に多く、合計15カ国以上の国と地域に留学中に行く事ができました。こうした経験を踏まえて、佐賀大学をもっと国際色豊かな大学にするために、校内の環境づくりによりいっそう尽力していきたいと思いました。
- 長期的な視点で一言
英語だけ話せてもあまり意味はないということを非常に痛感しました。それは英語が話せない人や何か国語も話せる人の両方と出会う機会が多かったからかもしれません。また「言語はその国の言葉で話したり、考えなければ、その文化を理解した事にはならない。」という言語学者の先生の言葉もすくなく印象に残っており、自分も遠い将来的に多言語話者（マルチリンガル）になりたいと強く思うようになりました。
- 校友会の皆様へ
校友会の皆様からの援助のおかげで、「30万円をバイトで稼ぐ時間と労力」を留学中に「新しい事に挑戦する時間と労力」にあてることができました。金銭面でのサポートがいかに留学生活を送る上で大切であるかを留学費の総額をみながら痛感している次第です。本当にありがとうございました。



海外派遣奨励金受給者（平成28年度受給）

イギリスでの研究で得たもの

工学系研究科循環物質化学専攻

中村 駿介

留学先：イギリス イーストアングリア大学

派遣期間：平成28年11月～平成29年2月

- 奨学金受給の使途・効果
支援いただきました奨学金は、渡航費ならびに家賃に充てさせて頂きました。学生ではなく研究者の身分で留学したため、安い学生寮に入らず、街のシェアハウスに滞在していたのですが、奨学金のおかげで安全かつ快適な生活を送ることができました。
- 短期的な視点で一言
イギリスでは海外の学生や先生と議論し、研究を行う難しさとやりがいを感じました。そこで得た新たな価値観や視点を研究に活かし、より魅力的な研究を行っていきたいと思っております。また、佐賀大学の国際交流推進のお役に立てたらと考えております。
- 長期的な視点で一言
今年度で大学院を修了し、来春から素材メーカーで研究開発に従事いたします。留学で多くの事を学べたおかげで、子供の頃からの夢であった職に就くことが出来ました。今後、世界規模でのつくりを行うにあたり、今回のイギリスでの研究の経験が必ず生きてくると確信しております。
- 校友会の皆様へ
校友会の皆様の援助のおかげで、とても有意義な研究留学にすることが出来ました。また、大学院を含め6年間佐賀大学で学びましたが、留学も含め何一つ不自由のない素晴らしい学生生活を送ることが出来ました。これも、校友会の皆様のおかげで出来たこととおもっております。学び舎である佐賀大学への誇りと感謝の気持ちを忘れず、今後の人生も邁進していきたいと思っております。ありがとうございました。



～～ 平成28年度の支援状況（学生支援） ～～

国際交流奨励金（1件 5万円）・・・学生の国際的な活動のための支援

大学院工学系研究科博士後期課程システム創成科学専攻 原 口 翔次郎
派遣期間等：国際学会（平成28年10月～平成28年11月）
開催国：オーストラリア

海外派遣奨励金（7件 165万円）・・・学生の海外留学のための支援

文化教育学部国際文化課程 溝 上 宗史朗
留学先等：リトアニア ヴィタウタスマグナス大学
留学期間：平成28年8月～平成29年6月

文化教育学部国際文化課程 小 林 真 夕
留学先等：アメリカ スリッパリーロック大学
留学期間：平成28年8月～平成29年5月

経済学部経済学科 森 永 なぎさ
留学先等：韓国 国民大学校
留学期間：平成28年9月～平成28年12月

大学院工学系研究科博士前期課程循環物質化学専攻 中 村 駿 介
留学先等：イギリス イーストアングリア大学
留学期間：平成28年11月～平成29年1月

経済学部経営学科 劉 彦 君
留学先等：オーストラリア シドニー工科大学
留学期間：平成28年3月～平成29年1月

理工学部都市工学科 チェ インウ
留学先等：リトアニア ヴィタウタスマグナス大学
留学期間：平成29年1月～平成29年12月

文化教育学部国際文化課程 上 野 明 音
留学先等：アメリカ パシフィック大学
留学期間：平成29年1月～平成29年5月

～～ 平成29年度の支援状況（学生支援） ～～

海外派遣奨励金（3件 75万円）・・・学生の海外留学のための支援

教育学研究科教科教育専攻 河 野 翔 太
留学先等：フィンランド ユバスキュラ大学
留学期間：平成29年9月～平成29年12月

文化教育学部国際文化課程 長 尾 冴 子
留学先等：平成29年9月～平成30年5月
留学期間：フィンランド ユバスキュラ大学

農学部応用生物科学科 川久保 修 佑
留学先等：アメリカ スリッパリーロック大学
留学期間：平成29年8月～平成30年5月

校友間交流事業（海外版ホームカミングデー）

○佐賀大学ホームカミングデー in ハノイ

開催日：平成29年2月11日（土）

会場：ベトナム・ハノイ市内ホテル

概要：今回は、卒業生等や協定大学関係者に加え、日越大学長、在越日本国大使館、国際交流基金ベトナム日本文化交流センター、佐賀の企業である株式会社大橋など、ゆかりのある方々42名の参加により、盛大に開催。ベトナムと佐賀大学の関係は、2000年のハノイ農業大学と佐賀大学との協定締結を皮切りに、これまでに交換留学生20名を受け入れ、ベトナム人の博士号・修士号取得者24名を輩出。

滝澤副学長の挨拶の中で、ベトナムは佐賀大学にとって今後も国際交流の重要な地域の一つであると述べられた。

続いて、在越日本国大使館・穴澤葉子班長、ハノイ国家大学外国語大学ゴー・ミン・トゥイ副学長、日越大学・古田元夫学長よりホームカミングデー開催にあたりお祝いの言葉が述べられた。続いて、滝澤副学長より、ベトナムに於いて初めてとなる佐賀大学友好特使を、ハノイ国家大学外国語大学ゴー・ミン・トゥイ副学長に委嘱した。

その後、ベトナム元佐賀留学生会を代表して、Nguyen Duc Huy 会長と Bui Dinh Thang 副会長より留学生会活動報告が行われ、活発に活動している様子や会の Facebook ページが立ち上がった事が報告された。



校友間交流事業（ホームカミングデー）

○第5回佐賀大学ホームカミングデー

開催日：平成28年11月26日（土）

会場：佐賀大学経済学部4号館、美術館

概要：卒業後50年、40年、30年、20年の近県在住のOB、OGを招待。卒業生の方32名を含む56名が参加。

企画：大学の研究紹介

国際学術会議「宇宙空間研究委員会」(COSPAR)

サバダール賞受賞者

大学院工学系研究科 新井 康平特任教授

「ICSU/COSPAR サバダール賞を受賞して」

学生発表

芸術地域デザイン学部1年生作成作品紹介

「ART FOR JUSTICE 伝説は佐賀から」

佐賀大学校友会からの奨励金受給者による報告会

美術館での作品鑑賞

「佐賀大学美術・工芸課程第58回総合展」

「久富邦夫展」

美術館併設のカフェにて懇談会



佐賀大学校友会では、会員になっていただける方を募集しています！！

【問い合わせ先】

佐賀大学校友会事務局

〒840-8502 佐賀市本庄町1(国立大学法人佐賀大学3階)

電話 0952-28-8390

(月曜日から金曜日 8:30~17:15 [祝日は除く])

ホームページURL [Http://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/](http://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/)

会費

- 正会員(個人) 20,000円(終身会員)
2,000円(年会費) ※2万円に達した場合は、終身会員になります。
- 賛助会員(団体に限ります)
1口50,000円

払込方法

- 現金または郵便局振込にてお願いします。
 - ・現金の場合は、佐賀大学校友会事務局にて受領いたします。
 - ・郵便局の場合は 振替口座/01760-049425
振替名義/佐賀大学校友会
(振込料金は、校友会で負担いたします。)